

女性スポーツサミット 2012 / Women and Sport Summit 2012

- 日時： 2012年4月21日（土）13:00～
- 会場： 順天堂大学本郷キャンパス（東京都文京区本郷2-1-1 センチュリータワー）
- 目的： ①女性スポーツの推進方策の世界的な流れを紹介すること
②8月に提出予定の「日本の女性アスリートの戦略的強化支援方策レポート（ドラフト）」に対する国内外の関係者からのフィードバックをいただくこと
- 共催： 文部科学省、公益財団法人日本オリンピック委員会、学校法人順天堂 順天堂大学
- 参加者： 文部科学省、タスクフォースWT（女性アスリート戦略的強化支援担当）メンバー、公益財団法人日本オリンピック委員会、国立スポーツ科学センター、各競技団体の強化担当者やコーチ、順天堂大学マルチサポート事業メンバー
- 協力： NPO 法人ジュース

プログラム

- 13:00 **開会の辞**
文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課 課長 杉浦 久弘
公益財団法人日本オリンピック委員会 理事 山口 香
学校法人順天堂 順天堂大学スポーツ健康科学部 学部長 野川 春夫
- 13:10 **サミットの開催趣旨と進行方法の説明**
マルチサポート事業 女性アスリートの戦略的サポート事業 責任者 小笠原 悦子
- 13:20 **パネルディスカッション「女性アスリートの強化支援の視点」**
コーディネーター：順天堂大学マルチサポート事業 海外アドバイザー Dr. Anita White
パネリスト：JISS 情報研究部 副主任研究員 和久 貴洋氏
パネリスト：国際女性スポーツマーケティンググループ（IWG）共同議長 Ms. Raija Mattila
- 14:20 **女性アスリートの戦略的強化支援方策レポート（ドラフト）**
順天堂大学マルチサポート事業プロジェクト委員、メンフィス大学 井上 雄平
- 14:45 **分科会（裏面参照）**
- 16:00 **休憩**
- 16:15 **全体会（各ディスカッションの結果の発表）**
- 17:00 **まとめ**

分科会 / Group Discussion

分科会 1 / Group 1 (305 会議室 / Room 305)

女性アスリートの潜在能力を最大限に引き出すための提案

女性アスリートが直面しやすい身体・生理的、心理・社会的な課題に対して効果的に対応するために、どのようなプログラム・政策を導入すべきか？

Recommendations for maximizing the potential of female athletes:

What programs/policies can be implemented to effectively address physical and psychosocial issues female athletes tend to face?

分科会 2 / Group 2 (306 会議室 / Room 306)

女性アスリートの高い国際競技力を継続的に維持、向上させるシステム構築の提案

トップレベルの女性アスリートを効果的に育成・支援するために、文部科学省、JOC、JISS、競技団体等の各関連組織はどのような役割を果たすべきか？また、各機関の協力体制はどうあるべきか？

Recommendations for creating a sustainable performance system:

What roles should each organization (MEXT, JOC, JISS, NFs) play in effectively developing/supporting elite female athletes? How should they cooperate with each other?

分科会 3 / Group 3 (307 会議室 / Room 307)

女性アスリートの戦略的強化支援方策に関する評価指標

女性アスリートのための支援プログラム・システムの効果を将来的に評価する際に、どのような指標を採用すべきか？

Evaluation criteria for the strategic support of female athletes:

What criteria can we employ in evaluating the effectiveness of the support programs/system for female athletes?